

【問題】

症例：70 歳代，男性。

主訴：腹痛，腹部膨満感。

既往歴：慢性腎不全で血液透析中（3 回/週），発作性心房細動。

家族歴：特記事項なし。

現病歴：2009 年 1 月，血液透析 5 時間後に突然下腹部痛が出現したため近医受診，腸閉塞が疑われ，グリセリン浣腸を施行されるも症状改善しなかった。翌日になっても症状改善しないため，当科紹介緊急入院となった。

入院時現症：身長 165cm，体重 56kg，意識清明，体温 36.5℃，血圧 86/40mmHg，脈拍 88/分，整，

下腹部に圧痛を認めている。明らかな腹膜刺激症状は認めなかった。便回数は 1 回/日であった。

来院時の血液生化学所見を Table 1 に，緊急入院後に施行した腹部単純 CT 写真を Figure 1，2 に示す。

1. その他，診断に有用な検査法は？
2. 最も考えられる疾患は？

解答は日本消化器病学会雑誌 106 巻 11 号をご覧ください

Table 1.

血液一般：		血液生化学：	
WBC	18200 / μ l	TP	6.1 g/dl
RBC	371×10^4 / μ l	Alb	3.0 g/dl
Hb	11.8 g/dl	AST	45 IU/l
PLT	15.5×10^4 / μ l	ALT	29 IU/l
腫瘍マーカー：		LDH	318 IU/l
CEA	4.2 ng/ml	CK	106 IU/l
動脈血ガス分析		T cho	232 mg/dl
pH	7.28	TG	72 mg/dl
pCO ₂	22.7 mmHg	BUN	29 mg/dl
pO ₂	94.1 mmHg	Cre	6.9 mg/dl
HCO ₃	10.4 mmol/l	Na	137 mEq/l
BE	16.3 mmol/l	K	4.5 mEq/l
		Cl	96 mEq/l
		FBS	99 mg/dl
		CRP	2.7 mg/dl

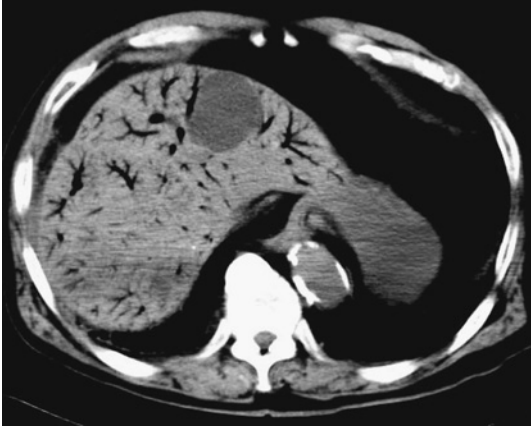


Figure 1.



Figure 2.